

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2271300168		
法人名	株式会社 日本ケアクオリティ		
事業所名	グループホーム徳倉 1階		
所在地	静岡県駿東郡清水町徳倉900-1		
自己評価作成日	令和3年9月30日	評価結果市町村受理日	令和4年1月12日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

私たちは家庭的な雰囲気大切に、入居者様がご自分でできる事やしたいことがいつでもでき、ご自分のペースに合わせて暮らしていただけるよう支援させていただきます。できる事に取り組んでいただき料理、洗濯などの家事を職員と一緒にさせていただいています。ホームの飼い猫が入居者の方々にやすらぎの時間をもたしてくれこともあります。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_022\\_kani=true&JigvoCd=2271300168-00&ServiceCd=320&Type=search](https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigvoCd=2271300168-00&ServiceCd=320&Type=search)

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社 静岡タイム・エージェント		
所在地	静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階		
訪問調査日	令和3年11月12日		

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

開設当初から継続している理念「やさしさ・ぬくもり・家庭的・尊厳」を大切にした介護を目指している。コロナ禍で全体会議を開くことが出来なかった為、申し送りを職員の交代時に丁寧に行い、利用者の様子や変化を職員が把握し共有している。職員同士はコミュニケーションが取れ、先輩や管理者に意見や質問などができる関係性を築いている。協力医がほぼ毎日来所し、病院の看護師と訪問看護師が週に1回来てくれるので医療との連携が取れ、利用者、家族の安心に繋がっている。看護師が体力の低下を防止するため個別のプロプログラムを作成し、利用者は毎日体操や歩行訓練を行っている。家族に送付しているお便りは利用者ごとに個別の写真や載せ、担当職員が日常の様子を細かく記入し、好評である。コロナ禍で外出が制限されている中で施設内で行事を行い、写真をSNSにアップして家族が閲覧することができる。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者・職員ともに理念を共有し入居者様に寄り添ったケアを心がけています。理念を再認識する機会を設けています。	事業所理念は変更も検討したが、開設当初からの理念を継続している。管理者は個別の面談時に職員に理念を再認識できるよう説明を行い、職員は内容について理解し理念に基づいた支援の実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	コロナウイルス感染予防のため現在は交流できていません。SNSを利用し、ホームの様子を伝える努力はしています。	自治会に加入し、地区の行事等について把握しており清掃活動には職員が参加している。コロナ前には地区の防災訓練や夏祭りに利用者と職員が参加して地域の方々と日常的に付き合い、近くの保育園とも定期的に交流をしていた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の資料等でホームでの状況をお伝えしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	文書での開催を行い、ホームの状況報告を行っています。ご意見、ご感想等をいただいた場合は、サービス向上に活かしています。	コロナ禍のため書面で開催し、事業所の状況や議事録を家族、地域包括支援センター、区長、民生委員、保育園、マッサージ師などの構成委員に送り、意見を頂くようにしている。地域包括支援センターからは毎回意見や提案があり、家族には電話で意見を聞くようにしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	様々なことで連絡をとり、相談するように心がけ、協力関係を築くように取り組んでいます。	行政には事故報告やコロナワクチン接種の件、災害対策等で出かけて協力関係が築けるよう相談をしている。地域包括支援センターが年に3~4回集会を開催しているので参加して、情報交換を行っている。最近は入居状況の確認などもZOOM会議で行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に三回研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体拘束についてのマニュアルは整備され、年4回ある会社の身体拘束委員会にはホーム長と4人の職員が参加し、会議後事業所の委員会を行っている。研修は年3回行っているが、コロナ禍のため現在は書面で研修を行い、全職員に回覧の上サインをもらい身体拘束のないケアについての取り組みを共有している。	

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	事業所内では虐待が、見過ごされる事のないうように注意を払い防止に努めています。研修を行い学んだことをいかにせるように努力をしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度について、学ぶ機会をもち活用できるように努力しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は管理者がご家族に十分な説明を行い、理解納得していただけるよう努力しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様の思いに寄り添う努力をしています。ご家族にはコロナ禍のため手紙や電話でお話をさせていただいています。	利用者の写真を載せ、担当の職員が利用者の近況を細かく記入したお便りを毎月家族に送っている。コロナで窓越し面会やラインでの面会、またかかりつけ医の受診の時などに家族の話聞き意見や要望を吸い上げるように努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コロナ禍のため、少人数でのショートカンファレンス、申し送り時、個人、個人との話の中意見を聞くようにしており、できるものは反映するようにしています。	管理者は面談時や日常の業務の中で職員の意見に注意して耳を傾け、一人一人と時間を作って向き合うようにしている。コロナ禍で全体会議が難しくなり、申し送りノートで連絡をし、情報を共有している。11月より全体会議を再開する予定である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	評価シート、個人面接等で把握できるように努力をしています。各自向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修はリモートにて参加した職員が講師となり書面にて全体に伝えています。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍のため外部の事業所とは交流する機会はありませんが、会社内部の事業所とはリモートで研修等を行っています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人と1対1で会話する機会を持ち、困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け、寄り添いながら信頼関係をつくる努力をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が気楽に訪問されたり、困っている事不安なこと、要望等を遠慮なく相談して下さるような信頼関係を持てるように、努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族がまず必要としている事を第一に考え、対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、できること、できないことを見極めできることは見守り、できないことは一緒に行ったり、介助を行い良い関係を作っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と連携を取りながら協力を求め共にご本人を支えていくように努力しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍のため面会制限が続いています。直接会うことは難しいですが、ご家族からの電話で会話することがあり、自室に携帯電話のある方はよくかかっています。またご家族に写真を持ってきていただき自室に飾ることもあります。	家族とは制限された中でも窓越し面会やラインで面会を継続している。携帯電話を持っている利用者は電話で話をすることもある。コロナ前は近くの保育園と定期的に交流をしたり、近くのスーパーへ利用者と一緒に買い物に出かけて馴染みの関係になっていた。	

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係を把握して一緒に何かに取り組んでいただいたりしています。職員は会話の橋渡し等の支援をして孤立しないように対応しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方のご家族様とも必要に応じて連絡をとったり、ご相談に応じています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや暮らし方の希望をきき、ご本人の思いに沿うような支援をしています。	職員は声かけをまめにして、思いや希望をくみ取り、利用者の思いに沿うように心がけている。また、申し送りノートや支援日誌に情報を落とし込んで職員で情報共有をしている。	記録用の様式を試行錯誤して、使いやすさを検討している。職員によっては意思表示が困難な利用者の思いを汲み取れなかったり、その理由を理解できないなどの課題があるので検証してレベルアップできる様、期待します。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族、ご本人に確認し把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お一人おひとりの過ごし方心身状態を考え、変化のあった時には職員同士で話し合うようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、主治医等と連絡をとりあい、より良い介護計画書を作成しています。ご本人の状態変化があれば、すぐに連絡するように心がけています。	利用者の日頃の様子や気になることは申し送りノートに記入し申し送りを随時行い情報を共有している。申し送りノートや支援日誌をケアマネジャーが見て医師や訪問看護師、訪問マッサージ師の意見を参考にして介護計画を作成し職員全員で確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録から情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしています。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍のためいろいろな制限がありますが個人、個人のニーズにできる限り寄り添えるような対応をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍のため地域の行事には参加できませんが、安全で豊かな生活を楽しむことができるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望を大切に、適切な医療が受けられるように支援しています。	月に2回協力医の往診があり、ほぼ毎日来所しているため、他の利用者の状態変化等の相談にのってもらえる。他のかかりつけ医の往診を受けている利用者もいて、どちらも24時間対応可能である。入居前からのかかりつけ医への通院にホーム長が同行する事もある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報、気づきを訪問時または必要に応じて電話連絡等で伝え、入居様様が適切な受診や看護が受けられるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ホームでの状態を伝える等病院関係者との情報交換に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	管理者は入居時に説明をし、意向確認を行います。ご本人の状態を確認しながら早めにご家族に相談し再度意向確認を書面にて行っています。ご本人、ご家族のご希望にそった最期を迎えることのできるよう対応しています。	ホーム長は入居時に重度化した場合や終末期について説明し、本人と家族に意向を確認し同意書を得ている。状態の変化時には医師から家族に状況を説明し意向を再確認して支援にあたっている。職員は看取りの経験はあるが、研修も毎年行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホーム内でのマニュアルを作成し、訓練を行っています。発生時にはご本人の状態によって対応しています。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内での防災訓練を行っています。コロナ禍のため地域の防災訓練には参加できていません。	コロナ前は地域の防災訓練に利用者も一緒に参加していた。ハザードマップは事務所にはり出し、各居室の入り口には小型の懐中電灯が置かれている。訓練も年に2回、実施しているが、今年度は大雨の時に垂直避難を実体験した。備蓄はリストがあり整備している。	法人全体で危険な施設から全員を安全な施設に移動する計画を練っているが、緊急時に活用できるように対策する事を望みます。長期停電時の対応や、コロナ後の地域連携についても検討される事を期待します。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重した言葉づかい、声掛け等常に気を付け接しています。	理念にも謳われているように利用者への声かけや言葉使いには日頃から気を付けている。不適切な場合はリーダーやホーム長がその都度注意を行い、毎年研修も行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションをできるだけ取るようにし、ご本人様の思い、希望に傾聴しています。またいろいろな場面で自己決定できるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合、他入居者様の対応等で希望に添えない時もありますが、できるだけ一人おひとりのペースを大切に、支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の希望に添える様に努力しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の好きなもの、食べたいものを伺い、対応できる時は提供しています。食事作りを手伝っていただいたり、味付けしていただいたり、食後には食器拭きをお願いしています。	利用者に食べたい物の希望を聞き、食材を見て献立を決めている。コロナ前は近くのスーパーマーケットに利用者と一緒に食材を調達に出かけていたが現在は配達にしている。利用者に調理や味付け、食後の片付け等できる範囲で行ってもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様のその日の状態を確認して、対応し、食事量、水分量を把握しています。必要に応じて声掛け、好みの物の提供等に対応しています。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の汚れや臭い、歯の状況等観察しながら毎食後ご本人様の力に応じた口腔ケアをしています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄パターンを知り必要な声掛けを行っています。記録を確認し、状態にあわせ個別対応をしている。座って排泄することを基本として可能な限りトイレ誘導を行っています。	個々の排泄パターンを把握して、時間や利用者の様子を見て声かけを行いトイレ誘導をしている。利用者の中には一人でトイレに行ったり、布パンツで過ごす人がいるが転倒防止の為、見守り支援をしている。ポータブルトイレは定期的に消毒し清潔に気をつけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別に排便コントロールをしています。起床時の水分摂取、朝食時ヨーグルトを召し上がっていただく等薬に頼りすぎないように支援しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週に2回入浴剤を入れ入浴していただいています。ご本人の状態にあわせ対応しています。午前中の入浴を基本としているが、入居者様の活動や反応に合わせて、午後に対応することもあります。重度化した場合にも2人介助で対応を心がけている。	1日3人の目安で週に2回、午前中に入浴しているが、利用者の様子やその日の希望で午後にするなどの対応を行っている。現在は入浴拒否もなく利用者のほとんどが入浴を楽しんでいる。安全な入浴支援のため2人介助で行うこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の状況に応じて休まれています。13:30から14:30まで休憩時間とし自室やフロア内で思い、思いに過ごされています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	症状を説明し主治医の指示を受けて服薬介助を行っています。症状の変化がある時には、主治医、看護師、ご家族様に連絡しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の得意とすること、できることを見極め楽しみを見つけられ生活にメリハリを持っていただける様に支援しています。		



静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍のため、病院受診以外の外出は行っていません。	最近の緊急事態宣言収束に伴い、施設の周辺を散歩するなど近場の外出支援を行っている。施設の前の道路は歩道が整備され、幹線道路から少し入れれば車の量も少なく平地で見晴らしも良い。コロナ前は家族と通院や美容院へ行った際に外食を楽しむこともあった。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理はご家族、またはホームで行っています。現在買い物には行っていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があれば、ご家族に電話をしたり、かかってきた場合には、ご本人にかわっています。手紙のやりとりをされている方もいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調、照明、家具の調整は必要に応じて行っています。季節感を取り入れたカレンダー作りを行っている方もいます。	食堂や居間は窓も多く、南向きで陽当たりが良く明るい。台所は対面式なので調理の音や匂いも漂い五感を刺激して家庭的な雰囲気を感じさせている。掲示物は季節の物を厳選して掲示してあるのですっきりしている。施設内で飼っている高齢の猫が利用者の癒しとなっている様子が伺えた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ、自室、和室を利用してご本人様が過ごしたい場所で過ごしていただいています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室の家具等はご家族が準備され、ご自宅でご本人が使い慣れたものを使用されています。写真や贈り物等を飾っています。	居室は十分な広さが確保され、備え付けの天井まであるクローゼットに布団や季節の衣類、紙おむつなどが収納されている。自宅で使い慣れた小ダンスなどは動線を考え配置され、家族の写真や体操手引きなどが壁に貼られている。緊急時の対策として小型の懐中電灯が各入り口に掛けられている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりができることわかることを見極め安全に生活できるように工夫しています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2271300168		
法人名	株式会社 日本ケアクオリティ		
事業所名	グループホーム徳倉 2階		
所在地	静岡県駿東郡清水町徳倉900-1		
自己評価作成日	令和3年9月30日	評価結果市町村受理日	令和4年1月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=2271300168-00&ServiceCd=320&Type=search](https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2271300168-00&ServiceCd=320&Type=search)

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 静岡タイム・エージェント		
所在地	静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階		
訪問調査日	令和 3年11月12日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私たちは家庭的な雰囲気大切に、入居者様がご自分でできる事やしたいことがいつでもでき、ご自分のペースに合わせて暮らしていただけるよう支援させていただきます。  
 コロナ禍で外出が難しい状況が続いていますが、少しでも季節を感じていただけるよう、取組んでいます。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) <input type="radio"/>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) <input type="radio"/>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) <input type="radio"/>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) <input type="radio"/>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) <input type="radio"/>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) <input type="radio"/>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) <input type="radio"/>	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) <input type="radio"/>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) <input type="radio"/>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) <input type="radio"/>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) <input type="radio"/>		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者・職員ともに理念を共有し入居者様に寄り添ったケアを心がけています。理念を再認識する機会を設けています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染予防のため現在は交流できていません。SNSを利用し、ホームの様子を伝える努力はしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の資料等でホームでの状況をお伝えしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	文書での開催を行い、ホームの状況報告を行っています。ご意見、ご感想等をいただいた場合は、サービス向上に活かしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	様々なことで連絡をとり、相談するように心がけ、協力関係を築くように取り組んでいます。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に三回研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修にて虐待防止について、学び見過ごされる事のないよう注意を払い防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度について学ぶ機会をもち活用できるように努力しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約は管理者が行い必要書類などご家族に十分に説明を行い理解、納得していただけるよう努力しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様の思いに寄り添う努力をしています。ご家族にはコロナ禍のため手紙や電話でお話をさせていただいています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コロナ禍のため、少人数でのショートカンファレンス申し送り時、個人、個人との話の中意見を聞くようしており、できるものは反映するようにしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	評価シート、個人面接等で把握できるように努力をしています。各自向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修はリモートにて参加した職員が講師となり書面にて全体に伝えています。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍のため外部の事業所とは交流する機会はありませんが、会社内部の事業所とはリモートで研修等を行っています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人からの思いや訴えを十分に傾聴し、ご家族からの情報を集め信頼関係をつくる努力をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困っていることや不安、要望などいつでも相談を受け付け信頼関係をつくる努力をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様からアセスメントを十分に行い情報を参考に対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中でできること、できないことを見極めできることは見守りできないことは介助を行い、関係をつくる努力をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に生活状況の報告と相談など連絡をして協力していただけることはお願いし、連携を取りながらご本人を支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍でできることで対応しています。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を観察し、必要時に会話の橋渡し等の支援をし孤立しないように対応しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された入居者、ご家族から連絡があった場合は気持ちよく相談に応じています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の会話の中から本人の思いや意向を聞きご本人の思いや意向を聞きご本人の思いに添った介護できるようにつねに考えています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族からお話を聞きこれまでの生活の様子の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃の様子を観察し記録に残し、小さな気づきに注意して心身状態の変化に目を向けています。必要に応じてカンファレンスを行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、主治医等に相談し介護計画書を作成しています。状態に変化があればご家族に連絡をするように心がけています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録をこまめに行い、日々の変化を把握し職員間でコミュニケーションをとり、話し合っケアをし介護計画書を作成しています。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様ひとり一人の状態の変化に注意し、その時々生じる介護サービスを考えて職員間で相談しあい実行しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍のため地域の行事には参加できませんが、安全で豊かな生活を楽しむことができるよう支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望を大切にして適切な医療が受けられるように支援しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報や気づきを看護師に伝え相談をし、入居者様が適切な受診や看護を受けられるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ホームでの状態を伝えるなどして、病院関係者との情報交換に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	管理者は入居時に説明をし、意向確認を行います。ご本人の状態を確認しながら早めにご家族に相談し再度意向確認を書面にて行っています。ご本人、ご家族のご希望にそった最期を迎えることのできるよう対応しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホーム内でのマニュアルを作成し、訓練を行っています。発生時にはご本人様の状態によって対応しています。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内での防災訓練を行っています。地域での防災訓練は参加できるときは参加していますが、現在コロナ禍のため参加していません。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重した言葉づかい、声掛け等常に気を付け接しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の思いを尊重し、いろいろな場面で自己決定できるように働きかけるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合、他入居者様の対応等で希望に添えない時もありますが、できるだけ一人おひとりのペースを大切に、支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	気温等に気をつけながらその人らしい洋服選びを支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に一度は行事食を提供して、いつもとは違った雰囲気を楽しんでいただいています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様のその日の状態を確認して、対応し、食事量、水分量を把握しています。必要に応じて声掛け、好みの物の提供等で対応しています。		



静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行っています。ご本人にさせていただき介助が必要な方は磨き残しがないか確認し清潔保持に努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄パターンを知り必要な声掛けを行っています。記録を確認し、状態にあわせ個別対応をしています。スポンの上げ下ろしなどできることは行っていただいています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量に注意し、個々に応じた予防の運動取り組んでいる方もいらっしゃいます。野菜を多めに摂取していただいています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴剤などを使用し、話をしたり、楽しんで入浴していただけるよう努力しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の希望をお伺いし休息をとっていただいています。安心して眠れるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ひとり一人の薬を理解し、状態の変化があった場合は主治医に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の話を聞いたり、好みのことを行っただき楽しく過ごしていただくよう工夫しています。		

静岡県(グループホーム徳倉)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍のため現在外出は控えています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在利用されている入居様は金銭管理が難しいため、ご家族様よりお金を預かり管理し、必要なものを購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のご希望に応じ、いつでも手紙をかけたたり電話ができるようにしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は常に清潔を心がけ整理整頓を行い、危険な場所がないようにしています。また季節感を感じられる壁画飾りを入居様と作成しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファのレイアウトなどを工夫しパーソナルスペースを確保しています。畳の上でくつろいでいただけるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人に届いたハガキやご家族との写真、ご家族からプレゼントされた造花などを飾っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	動線を確保し、状況により、自席を替えています。危険になりそうなものは排除し動きやすいよう工夫しています。		